

[特集]

地方大学のグローバル人材育成

政府を挙げての掛け声の下、

グローバル人材の育成に取り組む大学が増えている。

グローバル人材は、大都市や大企業にこそ必要とされるもので、

地域に人材を送り出す地方大学には

あまり関係がないと考えられていたのではないか。

しかし、今や地方にもグローバル化の波が押し寄せている。

急速に変化する産業や社会の基盤を支える人材を

地域で育てる取り組みが、強く求められている。

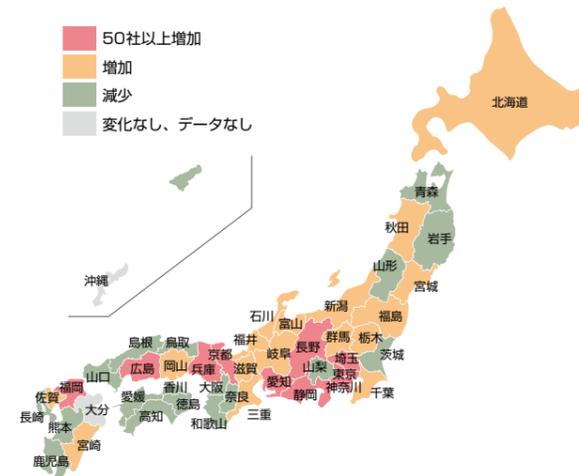
地方であっても、それぞれの強みを生かしたプログラムによって、

グローバルな視点で地域に貢献する人材を育成できるはずだ。

地方でもグローバル化が進行

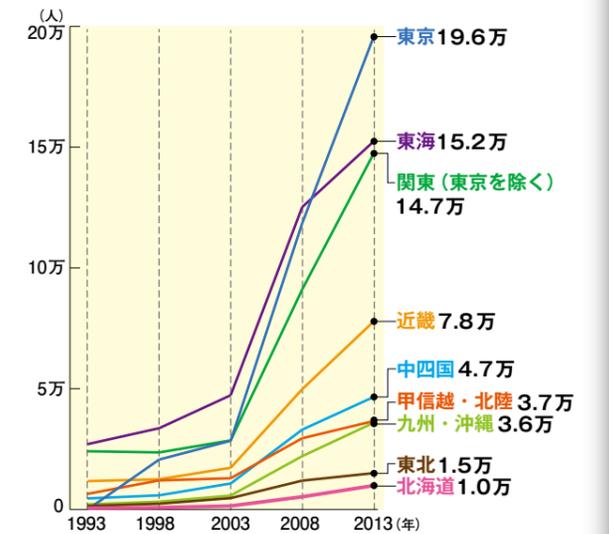
海外進出する企業の数
(2003年と2013年を比較)

日本 → 海外



外国人労働者数

海外 → 日本



※「週刊東洋経済増刊 2004-2014年海外進出企業総覧 会社別編」を基に編集部で作成。
※集計対象は、日本企業の出資比率合計が10%以上(間接出資を含む)の現地法人数。2004年は2003年10月、2014年は2013年10月に調査を実施。

出典/厚生労働省「外国人雇用状況の届出状況」(報道発表)
※小数点以下四捨五入

提言

なぜ、地方大学がグローバル人材を育成すべきか
小野 博氏 P.4

インタビュー & レポート

- 企業の声
地方中小企業が求めるグローバル人材とは?
 - 産学連携プロジェクト
留学生・日本人学生のインターンシップを支援
- P.8

事例

- 地域密着型の特色を生かす
山口県立大学 P.9
- 内部人材と学外ネットワークを生かす
福井大学 P.12
- アクティブラーニングの実績を生かす
共愛学園前橋国際大学 P.16